

平成30年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 5 1）

目指す学校像	南高生の誇り10箇条を座右の銘とし、人格の完成を目指し、豊かな情操を養い、探求心旺盛な自主自立の精神に満ちた心身共に健康な民主的社会人の育成を期する。
重点目標	1 主体的に学習できる生徒の育成と進路実績の一層の向上を図る。 2 活力と特色ある教育活動を推進する。 3 地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日 平 成 年 月 日			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等		
1	個のニーズに応じた選択科目を充実させた週34単位、年8回の土曜授業を導入し、2年目を迎える。来年度の完成年度を見据え、以下の検討・実践を行う。 ①高大接続及び新学習指導要領に対応した授業改善 ・「主体的・対話的で深い学びの推進」 ・「新大学入試の研究」 ②ICT教育の環境の整備、授業等でのICTの活用 ③生徒の進路実現のための的確な情報提供と進路実現の向上	授業改善の推進による確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業、授業研修会の実施 ICT活用環境の整備 公開授業の推進 AI実践の推進 生徒アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜授業、初任研等、多様な機会での授業を公開する。 公開授業を通して、授業改善研修会を年3回以上実施する。 ICT学習室を整備すると共に、ICT教育を研究・実践を行う。 生徒アンケート改善と授業満足度の7割超。 						
		進路希望実現に向けた計画的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の伝達、蓄積 進路ガイダンスや模擬試験、英語資格試験への参加率向上 模試分析会の活用 キャリア意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ICT教室設置と活用方法の充実。 英検準2級以上の合格率7割以上。 補習数と参加生徒数の増加。 模擬試験受験率の向上及び分析会の活用。 学力向上実践、時間活用、保護者対象や各年次における進路ガイダンスの計画・実施。 						
2	主体的な学習態度育成のためには、授業以外の体験的な活動も重要である。今年度も以下の実践を通じて体験的に理解する活動を増やし、様々な観点から生徒の人格形成を進める。 ①「3つの感動体験」の充実 ②主権者教育や講演会等の特別活動の工夫 ③人工芝グラウンドを活用した体育活動の充実と、安全かつ効率的な使用に向けた研究	学校行事の充実と安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を引き出す学校行事の実施 安全確保の強化 生徒の参画意識、危機管理意識の啓発 年間行事計画の効率化及び精選 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体の体育祭、文化祭の実施 PTAと連携した行事の安全強化 登下校時の安全指導の徹底 年間行事計画を見直し、授業確保や進路指導を充実できたか。 						
		多角的に人間形成を進める特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 3つの感動体験のほか体験型教育活動の実施、参加生徒数の増加 キャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 多角的なキャリア教育の計画と実施。具体的な進路意識の啓発。 地域連携事業に積極的に参加し主体的に学ぶ生徒の増加。 体験型学習の充実と工夫 						
3	関係諸機関のニーズに耳を傾け、より社会に開かれた、地域から信頼される学校づくりを進めるために以下の実践を行う。 ①保護者、地域に開かれた学校づくり ・グラウンドの地域開放事業の推進 ・授業公開の推進 ②企画委員会を中心とした風通しの良い学校運営 ・校務の可視化と効率化による職員の共通理解の深化 ・業務の継続性の確保による組織力の向上と風通しの良い職場環境の構築	保護者、地域に開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進 広報活動の活性化 地域、保護者ニーズの集約と迅速な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携事業等の活性化と連携意識の向上、共有。 授業公開+学校説明会の拡充。 HPを活用した細やかな発信。 メール配信の活用。家庭との連携強化。 						
		企画委員会を中心とした風通しの良い学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 総括に基づく懸案事項の共有 新たな取組等、改善点の組織的な検討 分掌横断、将来構想事項の積極的な検討 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌配置、進級等に係る内規検討の推進。 柔軟な委員会運営による共通理解の推進。 組織のスリム化、業務の効率化・可視化の具体的方策 						